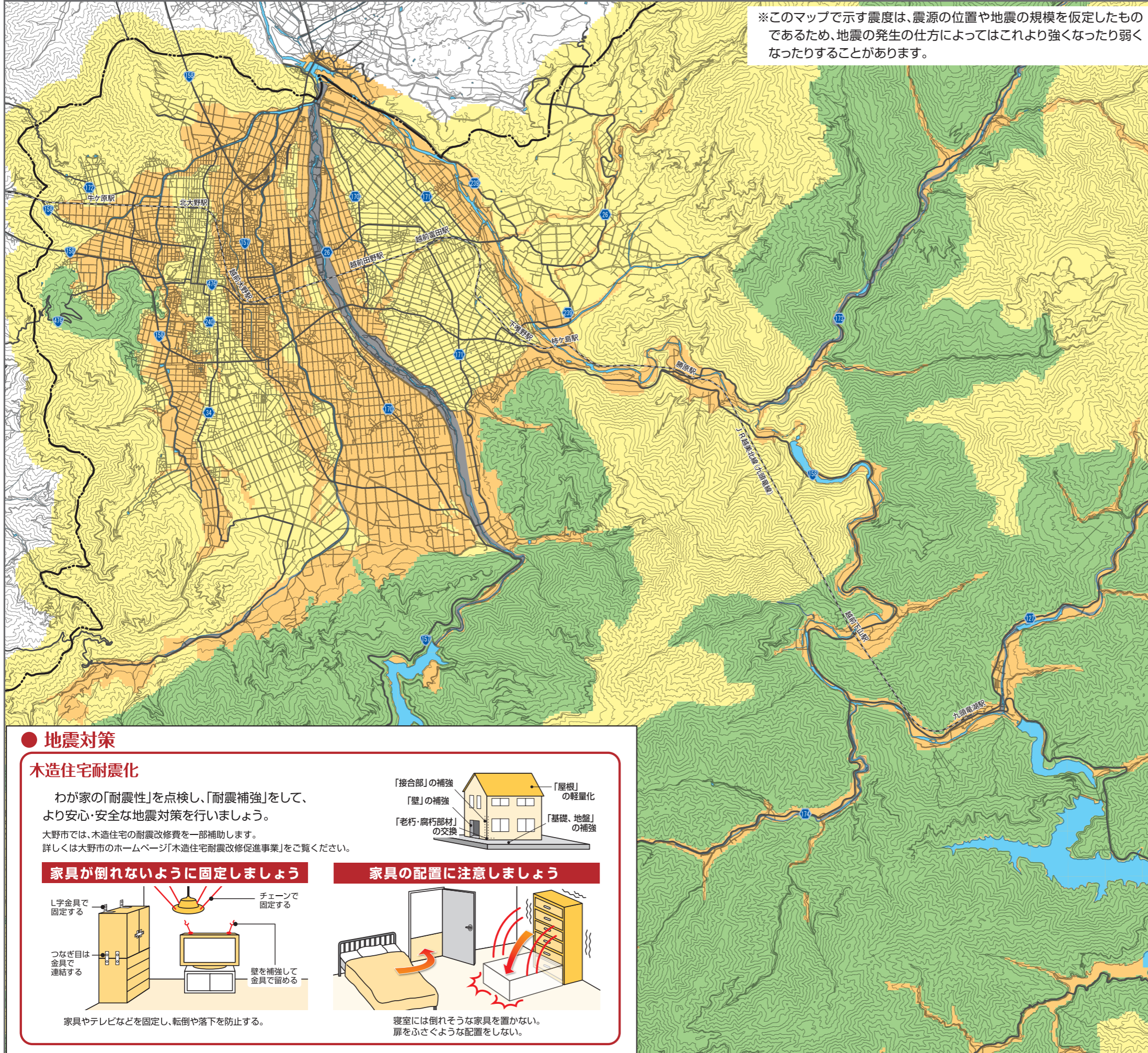
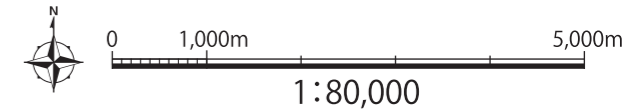


揺れやすさマップ (大野市のどの地点でも起こりうる直下型地震の想定です)

揺れやすさ(震度)

- 震度6強
- 震度6弱
- 震度5強



※このマップで示す震度は、震源の位置や地震の規模を仮定したものであるため、地震の発生の仕方によってはこれより強くなったり弱くなったりすることがあります。

大野市直下の地震

市内のどこの地点からも、地下4kmの位置に活断層が潜在していると想定し、マグニチュード6.9規模の地震が発生した場合の震度分布です。

震度 7

- 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものがさらに多くなる。
- 耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。
- 耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが多い。

耐震性が低い

耐震性が高い

震度 6強

- はわないと動くことができない。飛ばされることもある。
- 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。
- 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが増える。
- 大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山の崩壊が発生することがある。

耐震性が低い

耐震性が高い

震度 6弱

- 立っていることが困難になる。
- 固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。
- 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
- 耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。

耐震性が低い

耐震性が高い

震度 5強

- 物につかまらなると歩くことが難しい。
- 棚にある食器類や本で落ちるものが増える。
- 固定していない家具が倒れることがある。
- 補強されていないブロック塀が崩れることがある。

震度 5弱

- 大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。
- 棚にある食器類や本が落ちることがある。
- 固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。

液状化現象

市内のどの場所でも液状化の危険性があるので注意してください。

■液状化現象とは？

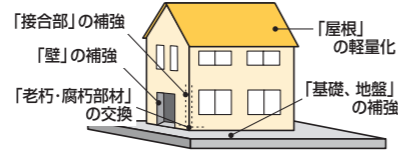
液状化現象とは、地下水位が高く、ゆるく堆積した砂地盤などが地震により激しく揺らされると、土の粒子が水と混ざり合って、一時的に液体のようにやわらかくなることをいいます。大野市には河川沿いに広がる低地部が多いため、液状化の危険性が高いと考えられます。

地震対策

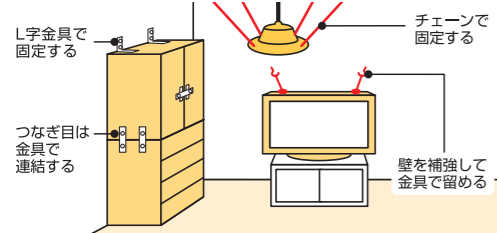
木造住宅耐震化

わが家の「耐震性」を点検し、「耐震補強」をして、より安心・安全な地震対策を行いましょう。

大野市では、木造住宅の耐震改修費を一部補助します。詳しくは大野市のホームページ「木造住宅耐震改修促進事業」をご覧ください。



家具が倒れないように固定しましょう



家具やテレビなどを固定し、転倒や落下を防止する。

家具の配置に注意しましょう



寝室には倒れそうな家具を置かない。扉をふさぐような配置をしない。